

第22号（ふるさと特集）

令和7年9月10日発行

坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

末政環境保全協議会は、**こども達と家族を含めた**稲刈り体験・生き物調査を**末政ドンドパーク**でおこないました。かつて、このパークは、用水の分岐点で水遊びの場であったと聞きます。形は変化しても、今も昔も人が集う大切な場所として、一生忘れられない思い出の地であると思われます。

ふるさとをみんなで未来に繋ぐ、地域一丸となった共同活動に感謝し心からお礼申し上げます。



表紙テーマ：ふるさとに感謝。**いつまでもいつまでも**よろしく。（2025/8/30 丸岡町末政）

頁	内 容
p 1 ～ p 2	会長あいさつ、池田市長表敬訪問
p 3 ～ p 4	長寿命化制度説明・運営委員会、設計閲覧を行いました
p 5 ～ p 8	シリーズ「ふるさとの達人」のご紹介です
p 9 ～ p 12	アイデンティティが高揚するふるさと坂井、ふるさと看板・安全活動のしおり
p 13 ～ p 14	令和7年度 生き物調査・水質調査の結果報告です

ふるさとコミュニティを構築する活動8年目に向けて

坂井市農地水広域協定会長 長谷川 喜道



今般、会長を拝命いたしました、活き生き東長田の（坂井）の長谷川でございます。

日頃から、集落委員会の共同活動や広域協定の運営にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、坂井市農地水広域協定は、平成30年4月1日に設立され、7年6ヶ月が経過しました。現在、129集落委員会、構成員1.1万人、5,107haを交付対象農地とし活動を行っております。

この間、予想もしない前代未聞の全世界に広がったコロナ対策を行いながらの代議員会・運営委員会、研修会など試行錯誤しながら必要な活動を計画的に進めてまいりました。

近年、集落委員会の皆様からは、人口減少や働き手不足など、社会全体の労働者不足と高齢化の中、役員や活動者の不足が大きな課題であると常々ご意見を頂いております。

多面的機能支払交付金の共同活動では、失われつつある地域コミュニティを少しずつですが取戻しを始めていると感じているところです。勿論、地域コミュニティは、祭り・催事・慶弔を中心として育まれ、伝承されてきた祝い事・祭り事・伝統芸能などもその役割は大きいと感じております。しかし、コロナ禍や労働の多様化など価値観は変化し、催事等の縮小・慶弔の個別化など、今まで育まれてきたコミュニティの礎となる行事も、今も少しずつ衰退していると感じております。

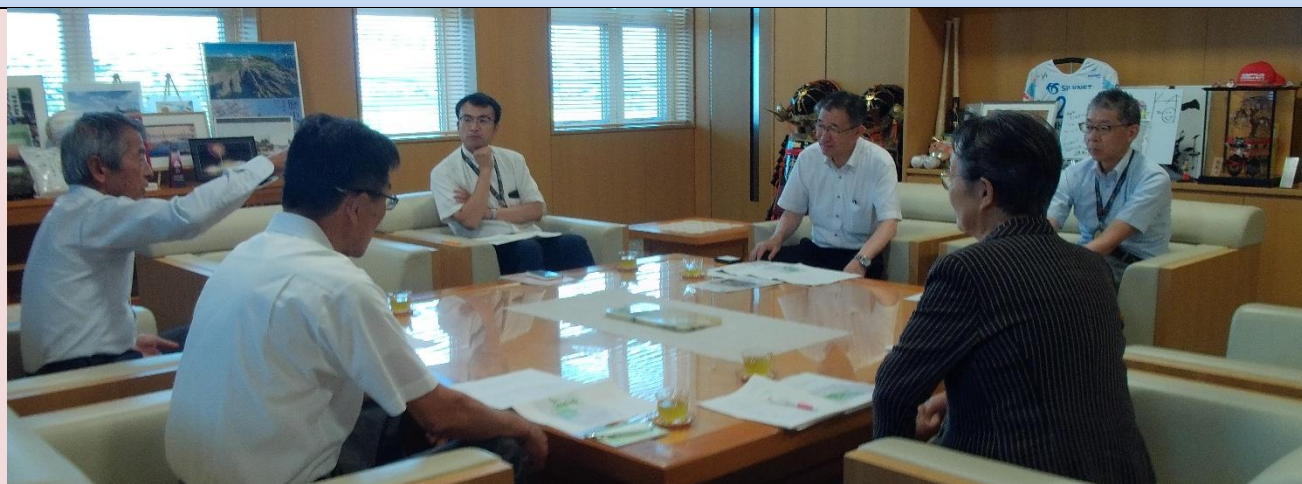
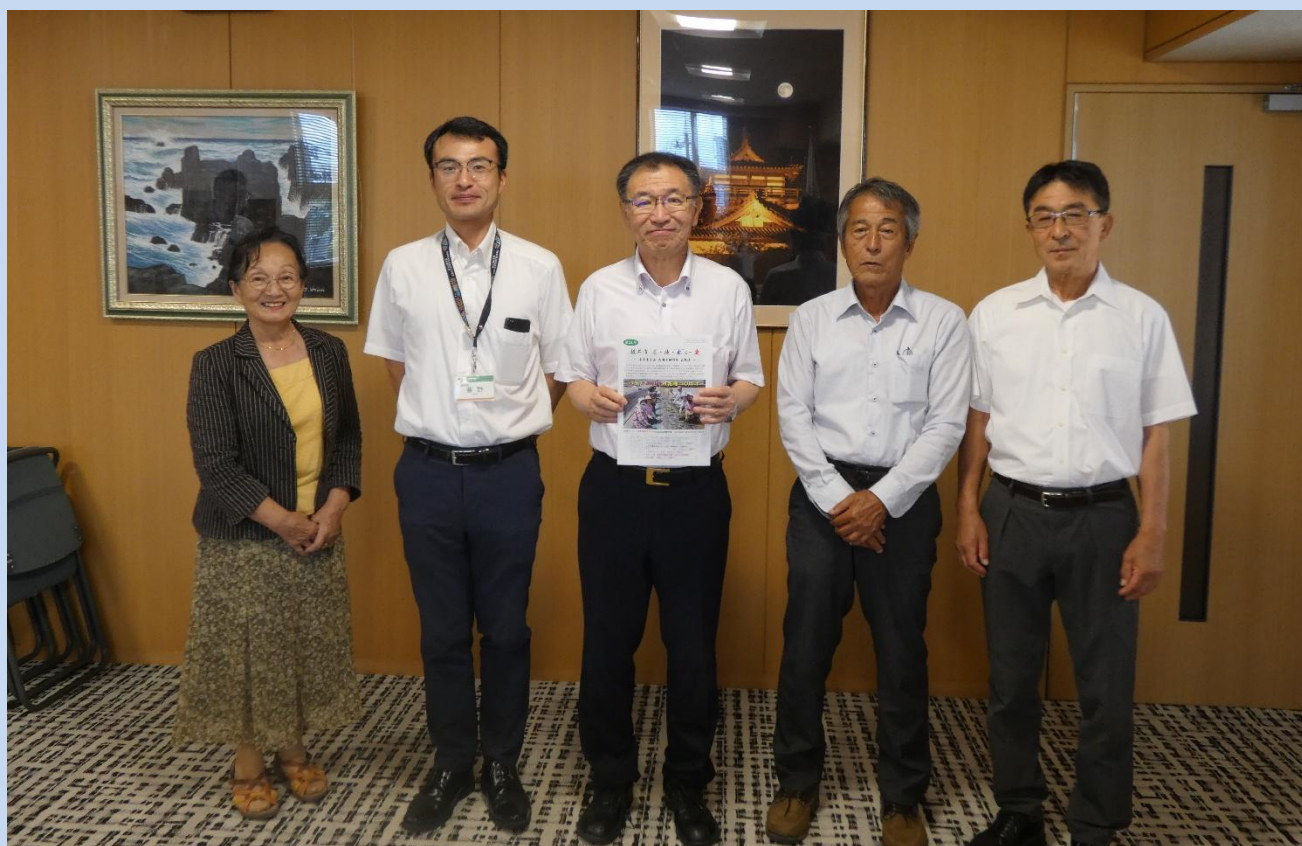
コミュニティは、災害時やまさかの危機に大きな役割を果たし、身体や命を守る一致団結した行動に繋がると信じています。地域の価値は、なにげない挨拶や相互理解と協力、活動の共有などと考え、それらは尊重と誇りを一層高め、コミュニティの更なる育みに繋がると推察します。

活動日報を通じて拝見する、役員会や共同活動では、沢山の集落が多様な意見を交換し、真剣にどのような改善活動を行うべきか議論していると想像いたします。多様な意見を出し合い、理解と協力のある合意に基づいた指針形成と実践活動は「ふるさとコミュニティ」であると思います。

本年度は、施設の維持・更新を行うためのコミュニティの在り方、加えて、それに必要な知識と経験の重要性についても、研修会等を通じてお知らせできたらと考えております。

結びになりますが、広域協定は、集落委員会の皆様のご理解とご協力があってこそ成り立つものと考えております。女性役員を迎え8年目となりますが、今後も、役員一同皆様のご意見をお聞きし、県・市の指導のもと運営したいと考えておりますので、これまで以上の、ご理解とご協力をお願いいたしまして、お礼とご挨拶といたします。

池田市長 表敬訪問



令和7年8月7日（木）に広域協定役員にて市長を表敬訪問しました。

- 坂井市農地水広域協定への支援をお願いしました。
- 坂井市との環境保全等に関する協力についてお願いしました。
- 交付金継続をお願いしました。

長寿命化制度及び加入説明会 兼 第2回運営委員会 (研修会) を開催しました。(2025/7/16: 東十郷コミュニティセンターにて)



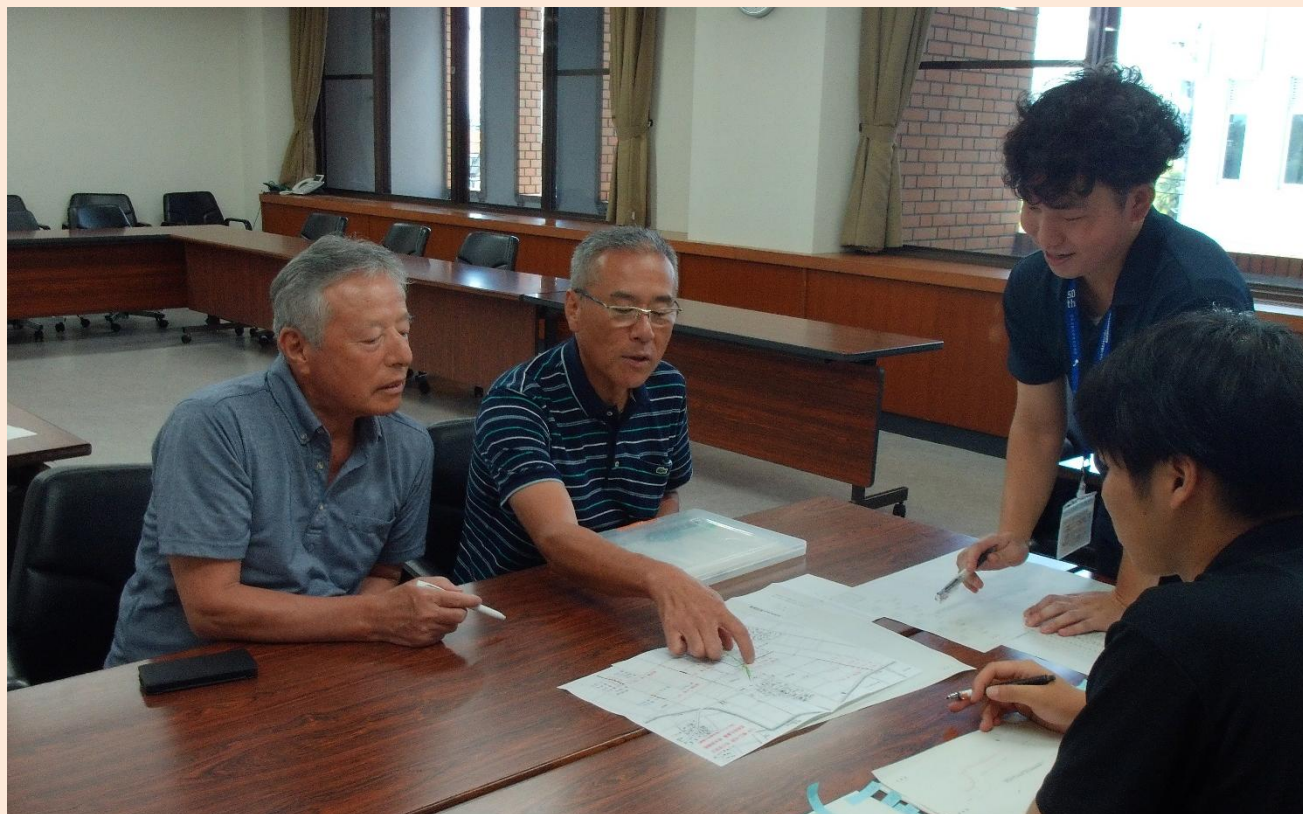
第2回運営委員会

- 坂井市と坂井市農地水広域協定との環境保全等に関する連携協定を進める
長寿命化制度説明会 . . . 31人参加
- 参加集落委員会数
9 集落委員会 / 11 未加入集落委員会
- 未加入の推移

年 度	長寿命化未加入集落
令和 8年度 (見込)	3集落 (2%) / 129集落
令和 7年度 (現在)	11集落 (9%) / 129集落
平成30年度 (設立)	32集落 (28%) / 116集落

- 質疑
維持共同交付金以外の交付金が交付されるのか → YES
資源向上 (共同) を行う必要があるのか → YES (2増進活動は広域施工)
長寿命化の交付金は → 1. 3億円 / 50箇所施工 / 年度
- 未加入集落の声
 - ・長寿命化を施工する場所がない
 - ・長寿命化制度のことが分からない・昔から未加入のため 等
- 未来の声
 - ・負担金を伴わない制度になぜ加入しなかったのですか?
 - ・その負担をなぜ今に?

令和7年度 長寿命化設計閲覧を行いました。（2025/8/7～8：坂井市役所にて）



真剣に確認！ 50集落委員会、85名が設計閲覧しました。

ご協力有難うございました。

ふるさとの達人

ふるさとの食「丸岡産玄そば」をいつまでも、心のふるさとに！

～ 末政環境保全協議会 中瀬 輝雄 氏 ～



令和7年7月30日撮影：丸岡高校

丸岡町末政で、水稻60ha・麦34ha・ソバ16haなど一家で栽培しています。
丸岡産玄そばは、黒化率67%・未熟粒33%でバランスがよく、もちもち感と透明感がある緑黄色で、「色よし、香りよし、味よし。」といわれています。丸岡扇状大地は水はけも良く、ソバ栽培の最適環境といえます。

福井県立丸岡高等学校の生徒に、平成28年からそば打ちの指導を行い、当日練習会場ではみずまわしや所作、競技としてのそば打ち時間の重要性を緊張ある中で説明されていました。

文武両道に、そば打ちの嗜みを加え、できたら、地域貢献や地域おこし、加えて、ふるさとの食を、将来、家族の味やその地域の食として伝えて欲しいといっています。



ふるさと自慢の味と食を、全力で伝える直向きな活動に心からお礼申し上げます。

ふるさとの達人

子ども達を見守る プランター花壇づくり の取り組み

～ 油為頭環境改善クラブ 野村 繁信 夫妻 ～



令和7年7月15日撮影：丸岡町油為頭

丸岡町油為頭、明章小学校前の用水路上部を利用したプランター花壇。ピンクや黄色や白、色とりどりの花が見事に咲き誇ります。水やり中に、**自転車に乗った中学生が下校する姿を見て、「お帰り」の一声**。中学生も会釈して下校。**さわやかさと温かさを感じる心地良いひと時**。切っ掛けは、多面的機能事業制度に加入し、集落に花壇がないことから、用水路上部を利用し、プランター花壇づくりを始めたとお聞きし、花は3月中旬から11月まで、絶え間なく咲かせるとのことです。

思いは、子どもたちが学校へ少しでも気持ち良く登下校できればと、**笑顔でおっしゃられて**いました。

プランター花壇づくりは、夫婦二人三脚で、出来る限り継続したいとのことでした。



ふるさとへ思いがある、夫婦二人三脚の共同活動に心から感謝しお礼申し上げます。

ふるさとの達人

坂井木部地区 ふれあい食堂 きべ丸 の取り組み

～ 蛸環境保全八足会 代議員 矢村 賢司 氏 ～

坂井中学校区小中連携 教職員 夏季研修会



令和7年7月24日撮影：地域交流センターいねす

坂井中学校区小中連携事業 教職員 夏季研修会にて、坂井町蛸（蛸環境保全八足会代表 兼 坂井木部まちづくり協議会）の矢村賢司氏が、ふるさとを愛する心の育成への一助を目的とし、子ども食堂とふれあい食堂「きべ丸」をテーマとし講演しました。

「きべ丸」は、まちづくり協議会が中心となり、毎回、70～100名の参加があり、多くは、子ども・保護者・高齢者で、メニューは、三色丼、カレーのほか中華風・洋風ものなど多彩でデザート付きです。打ち豆なます、のっぺい汁などの伝承料理も人気とのこと。

質問タイムで、「地域はどう活性化したのか。」に対し、「高齢者の憩いの場、共働き親の子供に栄養ある安心の食の提供は、故郷への感謝を育み、楽しい集まりの場になった。」と返答。

ふるさとの一員として、心を込めた自慢の活動に心からお礼申し上げます。



ふるさとの達人

育つん田 地域が一体となって米づくり、野菜づくり

～広域協定初代会長・下兵庫むらづくり委員会 竹内 紘一 氏～



坂井中学校区小中連携事業 夏季研修会にて、坂井町下兵庫（下兵庫むらづくり委員会）の竹内紘一氏が、「育つん田（米作り・野菜づくり・花づくり）」をテーマとし講演しました。兵庫小学校（1～6年生）と地域の連携事業です。「育つん田」は、米・野菜・花の生育管理をとoshi、子どもたち自身も成長して欲しいとの願いの活動です。

活動後に、田植えやコンバイン刈取りの実演を行います。子どもたちは、「なぜ、初めから行わないのか。楽でいいのに」の問いが、必ずあるといい、「昔の苦勞と食の大切さを」説明しますが、「ふーん」の返事とのことです。

活動後は、子どもたちは、親やおじいさん・おばあさんに対し感謝を示し、顔見知りの大人に対しあいさつをする変化があるといいます。



ふるさとに感謝を育み行動に繋げる共同活動に心から感謝いたします。

アイデンティティが高揚する ふるさと さかい

大堤：通称鴨池 (2021.11.25 撮影)



八ヶ郷の里に春 (2021.4.6 撮影)



ゆりの里公園 (2021.6.29 撮影)



黄金波打つ平野の温もり (2022.9.16 撮影)



三里浜砂丘地の黒松 (2020.10.6 撮影)



丸岡産苧りバ風景 (2023.10.23 撮影)



コウノトリ (2019.6.25 撮影)



黒狹牛 (2020.12.20 撮影)





ふるさと 環境

Signboard



<作業中の服装チェック>



- ☐ ヘルメットは被りましたか？
- ☐ 長袖、長ズボンは着用しましたか？
- ☐ 手袋、長靴等は着用しましたか？
- ☐ 防護メガネは着用しましたか？

草刈作業中の留意点

1. 防護の徹底

- ・草刈機を使用する際は、ヘルメットや防護メガネ、手袋、長靴（または安全靴）などを着用しましょう。

2. 障害物の除去等

- ・事前に、草刈範囲の空き缶や石、木片などを取り除いておきましょう。
- ・除去できない木や障害物がある場合は、その周辺は草刈機を使用せず、鎌等で草刈りしましょう。
- ・蜂刺されを防ぐために、適切な服装や殺虫スプレーを携行し、蜂に刺された場合の対処方法を事前に確認しましょう。
- ・刈刃に石や木片があたって飛び散り窓ガラスが割れる恐れがあるので、自動車は作業場所から離れた場所に停車させましょう。

3. 草刈機の点検・整備

- ・刈刃のひび割れや欠け等がある場合には、新しい刈刃と交換しましょう。
- ・刈刃が確実に固定されていることや、飛散物保護カバーが装着されていることを確認しましょう。

4. 草刈機の安全な使用

- ・安全な使用方法を修得した作業者が行いましょう。
- ・火災の恐れがあるので、エンジンを始動する場合は、給油場所から3m以上離れましょう。
- ・作業を中断する際や移動する際には、エンジンを切って刃の回転が止まってからにしましょう。
- ・安全な使用方法の修得には、「機械の安全使用に関する研修」の取組も活用してください。

5. 作業間隔の確保

- ・複数名で作業を行う場合は、15m以上間隔を置き、接触事故を防止しましょう。

6. 休憩の確保

- ・振動とエンジンの騒音で想像以上に疲労がたまるので、時間を区切ってこまめに休憩を入れましょう。
- ・熱中症対策のため、水分補給をこまめに行いましょう。また、必要に応じて検温を行いましょう。

7. 草刈業者への合図

- ・草刈機は騒音が大きいため、作業者に声をかける際には、鏡や笛を用いて遠くから合図をしましょう。



令和7年度【農村環境保全活動】実施活動報告書

～ 今年度も農村環境保全活動として、田んぼ周り排水路で生き物調査、用排水路で水質調査を実施しました ～

1. 生き物調査（2025年7月10日）

- 調査場所：野中（三国南小区）、石塚（大石小区）、木部新保（木部小区）、今市（磯部小区）
- 調査結果：キタノメダカ、カラドジョウの計2種類
※ 野中、石塚、今市において、魚類の生息は確認されませんでした。
- 重要な種：キタノメダカ、外来種：カラドジョウ



生き物調査場所（左から野中、石塚、木部新保、今市）

表1 生き物調査結果

調査場所	科名	種名	尾数	標準体長(mm)			重要な種		外来種
				最小	最大	平均	環境省 レッドリスト	福井県 レッドデータブック	生態系被害防止外来種
三国南小区 (野中地係)	確認なし								
	計0科0種類						—	—	—
大石小区 (石塚地係)	確認なし								
	計0科0種類						—	—	—
木部小区 (木部新保地係)	ドジョウ	カラドジョウ	1	45	45	45			その他の総合対策外来種
	メダカ	キタノメダカ	1	15	15	15	絶滅危惧Ⅱ類	県域絶滅危惧Ⅱ類	
	計1科1種類			2	15	45	—	1種類	1種類
磯部小区 (今市地係)	確認なし								
	計0科0種類						—	—	—

※ 標準体長とは、尾びれを除いた体サイズを示す。

生態について

キタノメダカ



カラドジョウ



- キタノメダカ：青森県（一部太平洋側）から兵庫県の日本海側に生息する。その他はミナミメダカが分布している。なお、工事や人口品種のメダカなどにより、生息が脅かされ数が減少している。
- カラドジョウ：ドジョウとよく似るが口ひげが長い。外来種であり、本来の分布は台湾や朝鮮半島西部等としている。福井県には分布がみられなかったが、近年一部の地域で生息が確認されている。

2. 水質調査（2025 年 7 月 10 日）

- 1) 調査場所：ため池（1 箇所）、農業排水路（4 箇所）
- 2) 調査方法（ため池）：農業（水稲）用水基準値、生活環境の保全に関する環境基準値を参照。
（排水路）：生活環境の保全に関する環境基準値を参照。
- 3) 調査結果（ため池）：COD に異常値がみられました。
（排水路）：覚善と下兵庫で、全窒素と全りんに異常値がみられました。



水質調査場所：左から→ため池（女形谷）農業排水路（覚善、正蓮花、下兵庫、一本田福所）

表 2 水質調査結果

		農業(水稲) 用水基準値※1	環境基準値	ため池 (丸岡町女形谷)	排水路 (三国町覚善)	排水路 (春江町正蓮花)	排水路 (坂井町下兵庫)	排水路 (丸岡町一本田福所)
採水日				灌がい期：令和7年7月10日				
天候				晴れ				
採水時刻				14時55分	11時10分	15時30分	10時30分	14時30分
気温	℃			36.2	32.2	33.8	34.8	31.8
水温	℃			29.8	27.8	25.2	28.3	27.8
水素イオン濃度 (pH)	—	6 ～ 7.5	6 ～ 8.5 ※2	6.5	6.0	7.2	6.5	7.0
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	—	8 以下 ※2	1.3	0.9	0.7	5.9	1.1
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	6 以下	—	6.5	4.8	2.9	6.9	3.9
浮遊物質 (SS)	mg/L	100 以下	100 以下 ※2	3	8	8	4	12
溶存酸素量 (DO)	mg/L	5 以上	2 以上 ※2	7.5	5.0	8.2	9.6	8.2
全窒素 (T-N)	mg/L	1 以下	1 以下 ※3	0.37	2.6	0.30	1.5	0.52
全りん (T-P)	mg/L	—	0.1 以下 ※3	0.022	0.21	0.068	0.18	0.10
電気伝導率 (EC)	mS/m	30 以下	—	8.4	19	7.3	9.2	7.1
砒素 (As)	mg/L	0.05 以下	—	0.005未満	—	—	—	—
亜鉛 (Zn)	mg/L	0.5 以下	—	0.05未満	—	—	—	—
銅 (Cu)	mg/L	0.02 以下	—	0.005未満	—	—	—	—

※1 水稲の正常な生育のために農林水産省で定められた指標（昭和45年制定）

※2 生活環境の保全に関する環境基準（「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示59号）」）河川 D類型(農業用水)

※3 生活環境の保全に関する環境基準（「水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環境庁告示59号）」）湖沼 V類型(農業用水)

：異常値

・総括（今後について）

生き物調査の結果、魚類の確認は本部小区のみでした。今年のような少ない雨量（梅雨）では、魚類の行動が活性されず、排水路への移動が行われなかった可能性も考えられます。また、福井県内には分布がない外来種のカラドジョウや重要な在来種となるキタノメダカがそれぞれ確認されました。

水質調査において異常値が確認された場所では、水の流れがないことで、栄養分が蓄積されたためと考えられます。なお、ため池については、令和2年度にも調査を実施していますが、ほぼ同様の結果となりました。調査時はヒシ（植物）が繁殖していましたが、水質結果については特に変動していなかったことから、ヒシの影響は低いと思われます。また、その他の場所（正蓮花、一本田福所）では、異常値がみられなかったことから良好な水質であったと思われます。

今後も、多面的機能の共同活動等を通じた管理をお願いし、多様な生態系や良好な水質の保全を願っております。

ふるさと坂井に広がり、農・地・水's-愛

生き物いっぱい。末政ドンドパーク！



親子で生き物調査です。



はさがけ。



ドンドパーク看板



全員集合！！

坂井市内の学校や地域に広がる「ふるさと教育」。

「ふるさと教育」は、なにを心に響かせ、未来になにを繋げたいのですか。

地域や家庭の役割は何ですか。ふるさと教育の全体像の理解は少し難しいと感じています。

しかし、故郷の誇りや自慢を全力で伝えれば、未来の担い手も故郷の一員として
自覚し感謝し、故郷を大切なものと認識し思考すると思います。

将来、自覚と感謝が思考から形に繋がることを期待いたします。

ふるさと 坂井に広がり、農・地・水's-愛！

発刊：坂井市農地水広域協定（坂井市役所内）

坂井市坂井町下新庄 1-1

☎0776-67-2351